

# 令和5年度 鹿屋市立上小原小学校の教育活動

学校教育目標

「心身ともにたくましく、自ら学び、心豊かな上小原の子を育てる」

## 校訓 つよく かしこく なかよく

人権尊重の理念にのっとり、すべての行動や判断の基準を一人一人の子どもに置き、生きる力を育みます。

- ① 子どもの笑顔がはじける生き生きした学校
- ② 子どもが学ぶ喜びを実感し、真剣に学習する学校

- ③ それぞれの責任を果し、協力し合う地域の中の学校
- ④ 清潔で美しく、安心・安全な学校
- ⑤ 開かれた学校

### ★学級経営の充実★

## つよく

## かしこく

## なかよく

#### 率先垂範

#### 健康・体力増進

- 1 安全に気を付け、心身ともに健康で生き生きと生活する子ども。
  - ①家庭と連携した感染症予防対策の充実（欠席0の日促進）
  - ②衛生環境の整備
  - ③疾病治療に関する指導充実
- 2 体力向上に努め、進んで働き、ねばり強く頑張る子ども。
  - ①体力づくりの充実
    - ・体育の授業の充実（運動量の確保）
  - ②一校一運動（早朝ランニング）への主体的参加、チャレンジかごしまへの参加
  - ③時間いっぱい無言作業の徹底
- 3 安心・安全の確保
  - ①歩いて登校、交通安全、校内外の安全指導の徹底
  - ②9時オフ（自己管理能力の育成と家庭との連携）

#### 共通実践

#### 確かな学力

- 1 基礎・基本を身に付け、活用でき、家庭学習の習慣が定着した子ども。
  - ①校内研修の成果を生かすよう教研活动をして授業に臨む。
  - ②一人一人の反応を確認しながら、授業を進めて行く。
  - ③100点チャレンジに取り組み、定着を図る。
  - ④学力向上月間、家庭学習週間間の充実を図る。
  - ⑤親子読書の推進
- 2 自ら考え、伝え合い、豊かに表現できる子ども。
  - ①考える時間、書く時間の確保
  - ②ペア・全体、発表の場の設定
  - ③発表に向けた事前指導の徹底
  - ④積極的な人材活用（学校応援団の活用）

#### 児童理解

#### 豊かな人間性

- 1 思いやりの心を持ち、丁寧な言葉づかいとあいさつができる子ども。
  - ①優しく礼儀正しい子ども（「あいさつ」の励行）
  - ②整理整頓、後始末ができる子ども
  - ③時間を守る子ども
  - ④特別支援教育の充実（啓発）
- 2 自らを律し、決まりを守り、友達と協調できる子ども。
  - ①道徳教育の充実（新指導要領）
  - ②人権教育の充実（人権感覚醸成）
  - ③積極的な生徒指導（児童理解）
- 3 豊かな心の育成
  - ①読書指導の充実
  - ②校内環境整備と設営充実
  - ③主体的なボランティア活動
  - ④異年齢集団活動の充実
  - ⑤整理整頓、後始末指導の徹底
  - ⑥ネット・ゲーム依存防止指導

#### 到達目標

- 「学校が楽しい」子ども 100%
- 早朝ランニング 90%
- むし歯治療率 90%
- 歩いて登校 90%

- 学力検査(NRT・全国学力) 全学年・全教科全国平均以上
- 定着度調査県平均以上
- 家庭学習の定着 90%（「低：30~40、中：40、高60分」）
- アンダーアチーバー0（ゼロ）

- いじめ等事案の解消率 100%
- 年間目標冊数読破達成 100%（「低120、中：100、高80冊以上」）
- 共通実践事項達成率 100%

学力向上という学校の責任を果たし、開かれた信頼される学校づくりをすすめる  
～サービス規律の厳正確保 職責感・使命感に溢れ、責任を果たす教職員～